

(変更3回) 契約変更の内容

契約変更年月日	令和7年12月4日
契約業者名	五洋建設株式会社 中国支店
契約業者の住所	広島市中区上八丁堀4番1号
工事の名称	水島港水島地区泊地(-14m)等浚渫工事
工事場所	浚渫工:岡山県倉敷市児島塩生地先、土砂改良投入工:岡山県倉敷市児島沖合
工事種別	港湾等しゅんせつ工事
工事概要 (変更した内容)	別添工事数量総括表のとおり
工期(自)	令和7年6月26日
工期(至)	令和7年12月5日
変更前の契約金額 (税込)	¥364,023,000
変更金額(税込)	¥149,160,000
変更後の契約金額 (税込)	¥513,183,000
変更理由	別添変更理由書のとおり

工 事 数 量 総 括 表

本工事数量総括表は、設計図書として入札・契約時の競争性・透明性を詳細に知らせるための資料であり、完成検査時の確認及び設計変更の対象数量ではない。

工事数量総括表

(参考資料)

工事名	水島港水島地区泊地(-14m)等浚渫工事(変更3回)					事業区分	港湾整備	
						工事区分	泊地(-14m)・航路・泊地(-14m)	
工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増△減	摘要		
泊地(-14m)等 浚渫工 グラブ浚渫工 グラブ浚渫	計画水深-14m	m3	11,776	12,640	864	暫定水深(-11.5m) 粘土質土砂N<10	12,640	m3
土砂改良投入工 土運船運搬工 土運船運搬 土砂改良投入工 カルシア改質材 カルシア改良投入工		m3	11,776	12,640	864	土運船と押船同数配備		
カルシア特許料 揚収物処分		式	1	1	1	対象	62,280	m3
		式	0	1	1	揚収物(金属くず)1.0t 揚収物(コンクリート殻)0.53t 揚収物(木くず)0.02t 揚収物(廃プラスチック)0.01t		
共通仮設 共通仮設費 回航・えい航費 回航 えい航	カルシア落下混合船 グラブ浚渫船 土運船	式 式 式	1	1	▲1	往復		
						原契約のとおり		
運搬 トレミー管 揚収物運搬		式 式	1	1	1	設置撤去、運搬		
			0	1	1			
事業損失防止施設費 汚濁防止枠		式	1	1	▲1	22m×22m カーテン丈長5m		
安全費 安全対策	安全監視船 安全管理業務	式 式	1	1	1			
			1	1	1			
技術管理費 技術管理	カルシア改質土施工時品質管理 カルシア改質土事前配合試験	式 式	1	1	1			
水雷・傷害等保険料 水雷保険	グラブ浚渫船 土運船	式 式				原契約のとおり		
現場環境改善費 快適トイレ		式	0	1	1			
測量業務 深浅測量(1) 測量準備 水深測量 成果	マルチビーム測量	式 式 式	1	1	▲1	原契約のとおり	事前測量	17,394 m2
深浅測量(2) 測量準備 水深測量 成果	マルチビーム測量	式 式 式				原契約のとおり		

変更理由書

1. 工事名 水島港水島地区泊地（-14m）等浚渫工事

2. 工期 令和7年6月26日～令和7年12月5日

3. 請負金額 402,963,000円（当初）
364,023,000円（変更1回）

4. 変更理由

本工事は水島港水島地区泊地（-14m）等の浚渫工及び土砂改良投入工を施工するものであるが、今般、以下の理由により設計図書を変更する必要が生じた。

- 1) その他：熱中症予防・防寒対策に関する仕様の追加
熱中症予防・防寒対策に関する実施要領の改訂に伴い、仕様を追加する。
- 2) 共通仮設費：カルシア落下混合船の回航基地港の変更
カルシア落下混合船の回航について、基地港が当初の想定と異なることが確認されたため、回航基地港を変更する。
- 3) 土砂運搬工：土運船押船隻数の変更
現地制約条件により、追加で押船を配備する必要が生じたため、1隻配備から3隻配備に押船の隻数を変更する。
- 4) 共通仮設費：汚濁防止枠設置・撤去の変更
浚渫工の汚濁防止枠について、使用後に撤去することとしていたが、後続工事との調整の結果、汚濁防止枠を引き継ぐこととしたため、撤去に係る費用を変更する。
- 5) 共通仮設費：品質管理試験の内容変更
試験工事の評価を行うに当たって、品質管理試験の内容を精査した結果、不足する試験を追加する。
- 6) 浚渫工：事前測量結果に基づく浚渫数量の変更
事前深浅測量の結果に基づき、浚渫数量を変更する。
- 7) その他：事前測量費の変更（土砂投入箇所）
本工事では土砂投入箇所の事前測量を行わず、過年度実績を用いることとなったため、本工事に計上している当該費用を減額する。
- 8) 共通仮設費：臨機の措置（台風15号）
台風15号に伴う作業船の退避について、契約書第27条第4項に基づき費用を追加する。

- 9) 土砂改良投入工：カルシア落下混合船の拘束費
浚渫船の工事間引き継ぎ時に発生するカルシア落下混合船の拘束費用について実態に応じて変更する。
- 10) 共通仮設費：汚濁防止枠カーテンの処分
汚濁防止枠用膜の処分が確認できたため、特記仕様書7-5-3(1)2)に基づき処分費を追加する。
- 11) 土砂改良投入工：投入数量の変更
事前測量により別件工事の浚渫数量が確定したため、特記仕様書7-4(10)に基づき、土砂改良投入数量を変更する。
- 12) 共通仮設費：揚収物処分費の追加
特記仕様書7-4(9)に基づき、浚渫土砂以外の揚収物処分にかかる費用を追加する。
- 13) 共通仮設費：トレミー管設置撤去、運搬費用の追加
特記仕様書7-5-2(1)に基づき、自立式トレミー管の設置撤去及び運搬費用について追加する。
- 14) 共通仮設費（現場環境改善費）：快適トイレにかかる費用の追加
快適トイレの設置を確認したため、その費用を追加する。
- 15) 土砂改良投入工：カルシア落下混合船投入能力の変更
特記仕様書8-11(3)に基づき、当初想定していたカルシア落下混合船の混合能力について協議があり、妥当性が確認されたため変更を行う。
- 16) その他：諸経費検証モデル工事の適用
「諸経費検証モデル工事」実施要領に定める全ての評価条件の履行を確認したため、割増を考慮した現場管理费率を適用する。
- 17) その他：工期延伸による熱中症対策の補正率変更
工期延伸に伴い、熱中症対策に資する現場管理費の補正率を変更する。
- 18) 共通仮設：安全監視船の追加配備
関係機関との調整の結果、航行船舶の十分な安全確保のため安全監視船の配備が必要となったため、土砂改良投入箇所に係る安全監視船を追加する。

以上